

東海第二発電所  
通信連絡設備について  
審査会合における指摘事項の回答

平成29年9月13日  
日本原子力発電株式会社

本資料のうち、 は商業機密又は核物質防護の観点から公開できません

1. 審査会合での指摘事項
2. 指摘事項の回答

## 1. 審査会合での指摘事項



番号	指摘日時	分類	指摘事項の内容
84	2017/9/5	62_1.19_通信連絡	フィルタベントの実施に係る第二弁操作室と中央制御室及び緊急時対策所との連絡手段について、作業の時系列も踏まえて整理して提示すること。

## 2. 指摘事項の回答(No.84)



### (1) 指摘事項

フィルタベントの実施に係る第二弁操作室と中央制御室及び緊急時対策所との連絡手段について、作業の時系列も踏まえて整理して提示すること。

### (2) 回答

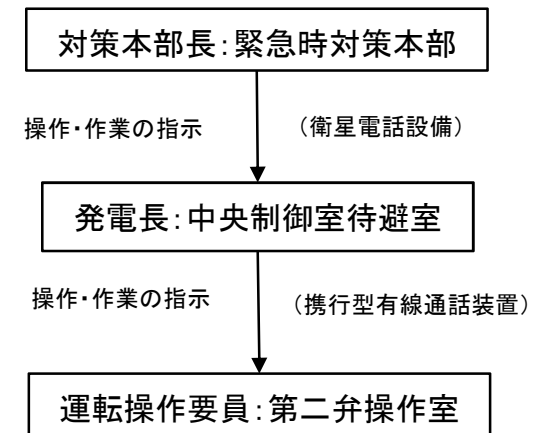
- フィルタベントの実施に係る第二弁操作時の実施体制は右図のとおり。
- 連絡手段は以下のとおり、携行型有線通話装置を用いて中央制御室待避室と第二弁操作室間の操作等の連絡、衛星電話設備を用いて緊急時対策所と中央制御室待避室間で対応操作の状況の中継する。

中央制御室待避室 ⇔ 第二弁操作室 …携行型有線通話装置  
緊急対策所 ⇔ 中央制御室待避室…衛星電話設備

- 作業の時系列はタイムチャートのとおり、中央制御室から中央制御室待避室への移行は、第二弁操作前に準備を行い使用機器は待機状態とすることで、切れ目なく通信連絡が可能である。

### (3) 記載箇所

SA設備 62条(通信連絡を行うために必要な設備)  
重大事故等対策の有効性評価 雰囲気圧力・温度による静的負荷  
(格納容器過圧・加温破損)



【実施体制】



【原子炉建屋3階 配置図】

## 2. 指摘事項の回答(No.84)



(続き)

				経過時間(時間)											備考
				1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	
操作員	実働員数・必要器具 【】は作業開始に発生した人員			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>約 3.9 時間 格納容器圧力 465kPa [警告] 到達</p> <p>約 16 時間 サプレッション・プール水位 通常水位+5.5m 到達</p> <p>約 19 時間 サプレッション・プール水位 通常水位+6.5m 到達</p> <p>約 40.6 時間 代替循環冷却装置 100% 稼働</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> </div> </div>											
	責任者	電気主任	1人												中絶監視 準備作業完了
	組長	電気主任	1人												運転員指揮業務
	運転員数	実働員数	2人												実働員数(運転員) 準備作業完了
運転員数 (中絶監視)	運転員数 (監視)		最大中絶監視員数 (監視)												
系統別代替排水ポンプを用いた代替格納容器スプレイ冷却装置(常設)による格納容器冷却操作	【1人】	—	—	●常設用代替排水ポンプを用いた代替格納容器スプレイ冷却装置(常設)による格納容器冷却操作											
格納容器圧力過剰による格納容器過熱保護	【1人】	—	—	●格納容器ベント作業(準備)											
	—	【1人】 【1人】	—	●格納容器(第一号) ●格納容器ベント作業(実施)											格納容器(第一号)
	1人 運転員	【3人】 【1人】	—	●緊急時対応への準備											第一号機停止後緊急時対応作業が完了する。
中絶監視業務の準備	【1人】	—	—	●現場整備(第一号)											
	—	—	3人 (中絶)	●中絶監視業務案内の正位紙準備											
	—	—	—	●可動側の取組											
	—	—	—	●アラーム確認(「監視用」の表示動作)											
格納容器圧力過剰による格納容器過熱保護(サブプレッション・プールの稼働)	【1人】	—	—	●格納容器スプレイ冷却装置(常設)による格納容器スプレイ冷却操作											
	—	—	—	●格納容器圧力過剰による格納容器ベント準備											
	—	—	—	●ベント状態監視											
	—	—	—	●格納容器バルブの閉止(第二号の電源操作完了の正位紙)											
	—	—	【3人】 (中絶)	●緊急時対応への準備											
	—	—	—	●緊急時対応への準備											
格納容器圧力過剰による格納容器過熱保護(サブプレッション・プールの稼働)	【1人】	—	—	●中絶監視業務案内の正位紙表示											
	【1人】 【1人】 【1人】	—	—	●中絶監視業務案内への準備											
代替格納容器プールの冷却操作	【1人】	—	—	●常設用代替排水ポンプによる代替格納容器スプレイ冷却装置(常設)を使用した常設用格納容器への排水操作											
—	—	—	—	●代替格納容器ベント準備(実施)											
可動型代替排水ポンプによる本格的な冷却操作	—	—	【10人】 【1人】	●アラームの取組、可動型代替排水ポンプの稼働、アラーム対応等											
—	—	—	【2人】 【1人】	●ベント取組及び水漏れ監視											適宜実施
クレーン等による格納容器冷却操作	—	—	2人 (中絶)	●可動型代替排水ポンプの稼働											
—	—	—	—	●可動型代替排水ポンプへの取組											
2人 【1人】	3人 【1人】	12人 【1人】 【1人】	—												

第 3.1.3-3 図 「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」  
の作業と所要時間(代替循環冷却系を使用しない場合)(2/2)